

Special Contents

サーキュラーデザイン思考による環境配慮製品の開発

オカムラでは「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」の概念に基づいた「サーキュラーデザイン」の考え方によって、さまざまな製品開発を行っています。環境に配慮した素材の使用、部品や資材の削減、長期使用が可能な構造などを重視。そうした取り組みを徹底することこそが、持続可能な社会づくりへの貢献につながります。また、社会全体に良い影響を与えられる新しい製品については積極的な情報提供も行い、豊かな発想と確かな品質の広がりを推進しています。

リサイクルで生まれ変わる 「Re:birth (リバース)」を 実現させた画期的プロジェクト

「Re:birth (リバース)」プロジェクト。文字通り、何度も生まれ変わるという「循環型の製品」の開発プロジェクトです。タスクシーティング「Potam (ポータム)」に採用された、「樹脂脚から、樹脂脚へ」の取り組みが、その最初の成功サイクル。オフィスチェアとして使用済みの樹脂脚を回収し、分別・粉碎を経て再び新たな樹脂脚として生まれ変わったリサイクル脚が、「Potam」のサーキュラーモデルに使われています。オカムラ独自のリサイクルインフラを確立し、このように自社製品を回収・分別して、新たにオカムラ製品の材料の一部として使用していく、画期的な循環型の製品づくりを進めています。家具で使用している主な材料を、新たな製品に生ま

れ変わらせるという、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みをさらに一歩進めることができました。「Potam」では、リサイクル素材から生まれた張材も採用。廃棄生地をリサイクルした再生材使用率100%のファブリック「Twill (ツイル)」の張材をラインアップしています。さらに配送時には製品を分割した状態で梱包・出荷し、運搬での配送効率や燃費を向上させ、CO₂の排出を抑制しています。



さまざまなリサイクル素材を 製品に積極的に採用

オカムラのフラッグシップモデルであるタスクシーティング「Contessa II (コンテッサ セコンダ)」サーキュラーモデルは、環境に配慮したさまざまな素材を使用しています。背と座の樹脂部分には、日本の使用済み漁網をリサイクルした再生ナイロン「REAMIDE® (リアミド)*」を使用。張材は、座面に「REAMIDE®」の糸と再生PET糸を編み込みオカムラが独自開発したニット素材「Re:net (リネット)」を使用

し、背面は使用済みのペットボトルからできたリサイクル繊維を原料としてオカムラ独自のメッシュ素材を新たに開発し使用しています。座面のクッションは、100%リサイクルが可能なポリエチレン製の「E-LOOP (イーループ)」を採用。「E-LOOP」は三次元構造の編成樹脂網状構造体で、通気性・体圧分散性に優れており、樹脂の粗密を三次元方向で変化させることで、より快適な座り心地を実現します。また、背と座面の張材のバリエーションの一つに、革製品として使用した後に最終的に肥料として土に還る「CircuLeather™ (サーキュレザー)」をラインアップしています。

*「REAMIDE®」は、株式会社リファイナースグループの登録商標です。



「Contessa II」サーキュラーモデル

上：「REAMIDE®」を使用した背と座
左下：座面に使用の「E-LOOP」
右下：張材の「CircuLeather™」

多様性のあるCMFの提案と 新たな素材開発

オカムラは、オフィス環境においてCMFの提案を行っています。CMFとはモノのサーフェイス（表面）を構成する3つの要素のことで、カラー（色）、マテリアル（素材）、フィニッシュ（仕上げ）を指します。ワクワクやドキドキを感じられるオフィス環境が、創造性を育み、効率性をもたらすととの観点から、素材の力で感性を刺激するオフィスを提案。集中、活発なコラボレーション、リラックスなどそれぞれの行動にはそれぞれに適したCMFがあると考え、製品開発や空間構築に取り入れています。

また、このCMFの取り組みの一環として、環境に配慮した素材を積極的に開発。廃漁網リサイクルファブリック「Re:net（リネット）」や、廃棄生地をリサイクルした再生材使用率100%ファブリック「Twill（ツイル）」など、さまざまな素材を製品に活用しています。

CMF VISION

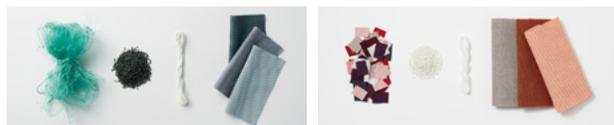


Playful
（プレイフル）

Hygge
（ヒュッゲ）

Recharge
（リチャージ）

Immerse
（イマース）



廃漁網をリサイクルした
ファブリック「Re:net」

廃棄生地をリサイクルした
ファブリック「Twill」

TOPICS

天然素材に由来した リノリウム天板を採用

クリエイティブファニチュア「WORK CARRIER（ワークキャリア）」の天板などには、天然素材由来のリノリウム化粧板を採用しています。亜麻仁油、ロジン、木粉、石灰粉、天然色素などの天然の原材料からできた化粧材で、マットで暖かくソフトな質感が特徴。生産時にカーボンニュートラルを達成しているサステナブルな環境配慮素材です。



TOPICS

環境素材として着目されている 竹を天板の表面材に採用

テーブル&チェアシリーズ「Phlox（フロックス）」の天板の表面材には、環境素材として着目されている竹を採用しています。竹は、一般的な針葉樹に比べて約20倍もの早さで成長し、環境負荷が少ないと言われています。脱プラスチックを実現する取り組みとしても、サステナブルな素材としての活用をこれからも考えていきます。



「未来へつなぐ、波を起こせ。」 オカムラのものづくり

「サーキュラーデザイン思考」を大切にしているオカムラでは、海洋プラスチックごみのリサイクル生地や、再生樹脂、バイオマスプラスチック、竹炭を利用した特殊粉体塗装などさまざまなリサイクル素材や再生可能資源を多くの製品に使用しています。このようなものづくりにおける取り組みがサーキュラーエコノミーにつながるだけでなく、素材のバリエーションの豊かさが、暮らしや場のデザインの豊かさにもつながります。

また、こうした活動を推進していくためには、お取引先やお客さまとのパートナーシップが欠かせません。一人ひとり意識し、さまざまな組織が連携し、垣根を越えて手を取り合う。そのようなポジティブな連鎖が、よい未来へとつながっていきます。

「未来へつなぐ、波を起こせ。」というスローガンとともに進んでいるのが、オカムラの「GREEN WAVE（グリーンウェーブ）」。GREEN（環境配慮）のWAVE（波）を自ら起こし、その波に乗るという考え方とともに、さまざまな取り組みを推進しています。未来へつなげるためにも、人が活きる環境づくりについて、その根本となる素材から丁寧に見直していきたい。これからもオカムラは、社会貢献につながる波を起こしながら歩み続けます。

